

インフォシス、Archrock とデジタル技術の統合で提携

フィールドサービスと業務の強化を図る次世代プラットフォームの構築と実装

バンガロール (インド) – 2021 年 6 月 7 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである**インフォシス** (NYSE: INFY)は 7 日、米国の天然ガス圧縮サービス大手の [Archrock, Inc.](#) (「Archrock」) と、フィールドサービス技術者向けのデジタル技術とモバイルツールの統合で提携することを発表しました。インフォシスはこのプロジェクトで、事前設定の Microsoft Dynamics 365 Field Service Application のアクセラレーターを使用し、Archrock のフィールドサービスと作業の合理化および効率化に取り組みます。

Archrock は、豊富な経験とエネルギー産業に関する詳細な専門知識、プロジェクト専用チーム、Microsoft Dynamics 365 Field Service 分野の高い能力持つインフォシスを選びました。インフォシスは、フィールドサービスのプラットフォームをバックエンドのエンタープライズ・リソース計画システムと統合します。

Archrock の運用部門シニア・バイスプレジデントである Eric Thode 氏は次のように述べています。「インフォシスとの提携は、顧客へのバリュープロポジションをさらに強化し、資産管理をより効果的に行い、カーボンフットプリントを削減し、株主に魅力的な価値を創出することを目的とした複数年に及ぶ技術プロジェクトの一環です。当社のデジタル変革の主な 2 つの目的は、顧客エクスペリエンスの向上と現場スタッフの業務を行い易くすることです。これら最先端のモバイルツールを業務全体に導入することで、圧縮ユニットの稼働時間の増加や、フィールドサービス技術者の効率改善、ひいては車両の燃費改善を期待しています。インフォシスは、デジタルやエネルギー産業分野で確かな実績があり、業界をリードする Microsoft のフィールドサービスプラットフォームを導入するのに適したパートナーであると確信しています。」

インフォシスの SVP 兼サービス、ユーティリティ、リソース、エネルギー部門長である Ashiss Kumar Dash は次のように述べています。「エネルギー企業は、デジタル技術の可能性を理解しており、高い生産性やより質の高いヒューマンエクスペリエンス、業務効率の恩恵を受けるために、デジタル変革ジャーニーに乗り出しています。当社は Archrock のフィールドサービスの変革ジャーニーに共に取り組めることを嬉しく思います。エネ

ルギー産業に関する豊富な知識、技術の専門知識、Microsoft との強固な関係を活かして、Archrock とこの変革ジャーニーにおいて非常に大きな事業価値を創出できると確信しています。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2019 年会計年度（2020 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: jo_ando@infosys.com